

ありば

VOL. **44**
2022

「バリア」の逆は「ありば」。
バリアフリーな社会を築くために、本誌はバリア反対!の意を込めて、「ありば」というタイトルにしました。
みんなに住みよいまちを、みんなで築くために。
人と人のバリアフリーコミュニケーションをご紹介する広報誌、それが「ありば」です。



表紙/車イスバスケットボール 谷口 拓磨 (たにぐち たくま) さんの作品

第40回肢体不自由児・者の美術展で全国肢体不自由特別支援学校PTA連合賞を受賞した鹿児島県養護学校高等部に通う谷口拓磨さん(17歳)。本作品は、「私の好きなもの」というテーマで、小学校4年生から打ち込んでいる車椅子バスケットボールを躍動感あふれるタッチで描き上げました。「初めて出場した大会で観客がたくさんいる中、プレッシャーを感じながらプレーしている自分を描きました。人物の迫力を出すために、姿をはっきりと大きく描いています。」と話す谷口さんは、元々、絵を描くことに苦手意識があったそうですが、「今回の受賞を機に、自分の絵に自信をもつことができました。高校卒業後は絵を描く機会は少なくなりますが、いろいろな絵を見ることを楽しみたいです。」とのこと。また、「車椅子バスケットボールでパラリンピックに出場し、金メダルを取りたい。」と今後の目標についても話してくれました。



CONTENTS

[特集]

鹿児島県障害者芸術文化活動支援センター
～アートを通じて色んな人とつながろう～

PAGE **1**

ありばヒューマンドキュメント
原良田 龍彦さん

PAGE **3**

ありば通信
社会福祉法人 白鳩会

PAGE **4**

ハードルを越えて
日高 優翔さん

PAGE **5**

バリアフリー最前線

センターラス天文館
鹿児島県身障者用駐車場利用証制度

PAGE **6**

鹿児島県からのお知らせ

- ・ヘルプマーク・ヘルプカード
- ・アルコール関連問題啓発習慣
- ・自殺に係わる相談窓口の案内

PAGE **7**

